

令和6年度 西区地域包括ケア推進会議

日時：令和7年1月28日（火）14：00～15：30

場所：西区役所別館1階 講堂

次 第

1 開 会

2 会長、副会長の選出について

3 議 題

- (1) 地域包括ケアシステムの概要 …P1
- (2) 西区における地域包括ケアの取組み
 - ①高齢者の概況等 …P2～P3
 - ②事業報告等 …P4～P14
 - ③地域ケア会議開催状況等 …P15～P20

4 意見交換 …P21～P22

5 閉 会

〈参考資料〉

【参考資料1】校區別社会資源等一覧

【参考資料2】見守りポイントシート(標準版)

【参考資料3】西区版 エンディングノート

福岡市西区地域包括ケア推進会議設置要綱

福岡市西区地域包括ケア推進会議委員名簿

令和 6 年度 西区地域包括ケア推進会議 出席者名簿

【委員】

(五十音順、敬称略)

所属団体等	氏 名
福岡県社会福祉士会	井上 孝
西区自治協議会会長会	植田 幸二
福岡県看護協会 5 地区支部	江口 敦美
福岡市薬剤師会 西支部	木下 大輔
福岡市西区医師会	木村 史郎
西区民生委員児童委員協議会	清成 厚美
西区老人クラブ連合会	古賀 興三
西区衛生連合会	柴戸 純子
西区校区社協会会長会	角 博美
認知症の人と家族の会	立野 栄子
福岡市老人福祉施設協議会	立石 悦子
西区歯科医師会	田中 慎一
西警察署	西川 創二郎
西消防署	久恒 衛
福岡県弁護士会	松澤 麻美子
西区公民館館長会	横坂 武志
福岡市保健所	山本 信太郎
西区保健福祉センター	新川 智子

【事務局】

西区地域保健福祉課 課長	富田 亜由美
地域包括ケア推進係長	森塚 藍
権利擁護等担当主査	出口 美華
地域福祉ネットワーク担当主査	花田 絵里
地域保健福祉第2係長	森 稚恵子
地域包括ケア推進係	坂田 朋揚

【社会福祉協議会】

福岡市社会福祉協議会 包括支援課長(早良区・西区担当)	本宮 智子
西区社協事務所 所長	正木 顕

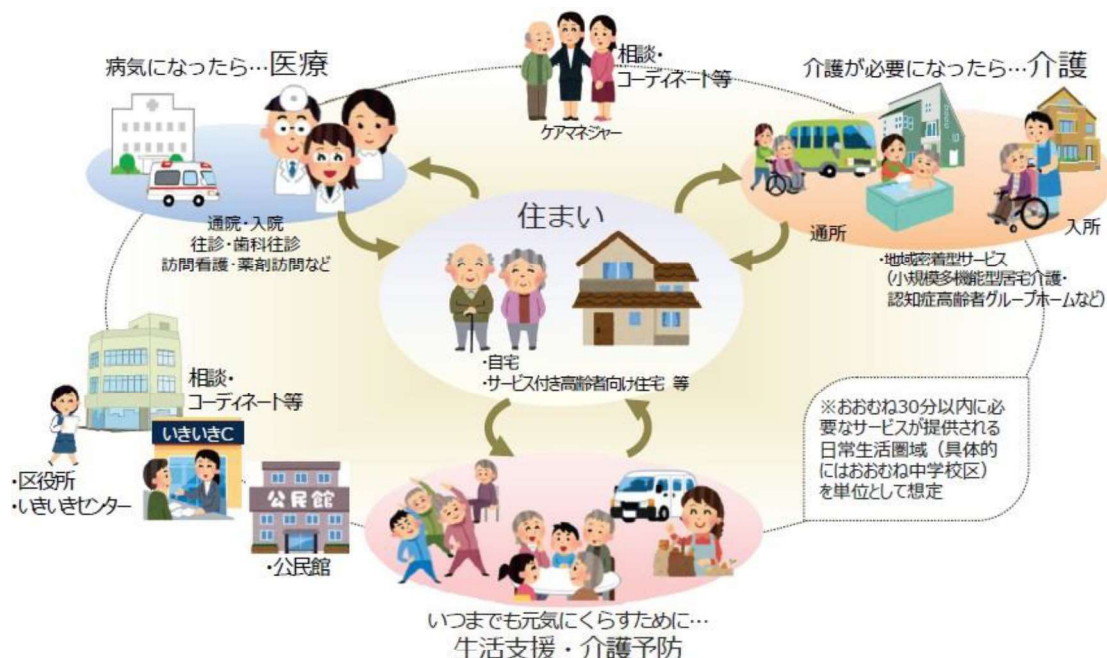
【地域包括支援センター】

西第1いきいきセンターふくおか	栢山 かずよ
西第2いきいきセンターふくおか	香野 扶巳子
西第3いきいきセンターふくおか	菊池 茂充
西第4いきいきセンターふくおか	大久保 庸平
西第5いきいきセンターふくおか	浦川 雅生
西第7いきいきセンターふくおか	小浦 美奈子
西第8いきいきセンターふくおか	茂 順子

(1) 地域包括ケアシステムの概要

地域包括ケアシステムとは

高齢になっても、誰もが個人として尊重され、人生の最期まで、住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができるよう、「保健（予防）」「医療」「介護」「生活支援」「住まい」が一体的に提供される仕組み。



西区のこれまでの取り組み

保健・介護予防 	医療・介護 	見守り・生活支援 
〈目指す姿〉 ◆市民が積極的に健康づくり・介護予防に取り組んでいる。	〈目指す姿〉 ◆高齢者が在宅に必要な医療・介護サービスを受けられる、切れ目のない仕組みができています。 ◆認知症高齢者や単身高齢者が安心して在宅生活を継続できる。 ◆医療ニーズが高い人でも在宅で生活できることを区民が理解している。	〈目指す姿〉 ◆高齢者が孤立せず、地域と関わりを持ちながら生活している。 ◆高齢者が必要に応じて、生活支援サービスを受けられる。
〈主な取り組み〉 (地域・社協・区) ●健康づくり・介護予防の啓発 ・フレイル予防教室 ・生き生き講座 ・生活習慣病予防教室 ・ロコモ予防サロン ・ICTを活用した健康づくり ●自主的な介護予防の場づくり ・よかた実践ステーションの創出・支援 ●健康なまちづくりの推進 ・全校区の健康なまちづくり懇談会での意見交換	〈主な取り組み〉 (医療介護関係団体・区) ●区民及び専門職の理解促進 ・在宅医療やACP(アドバンスケアプランニング)に関する市民啓発講演会 ・多職種連携研修会 ・地域ケア会議 ●医療・介護関係者の連携強化 ・多職種連携研修会 ・医療・介護関係のネットワーク会議 ●認知症の理解促進 ・認知症サポーター養成講座 ・ユマニチュード講座	〈主な取り組み〉 (地域・社協・区) ●多様な主体による生活支援の確保 ・地域住民やNPO、民間企業による支え合いの支援活動（生活支援ボランティアグループ・買物支援）の創出・運営支援 ●見守りの体制づくり ・ふれあいネットワークの支援 ・ふれあいサロンの支援 ・地域カフェの支援
〈横断的な取り組み〉	●自己選択・自己決定を支える環境づくり	●複合課題への対応

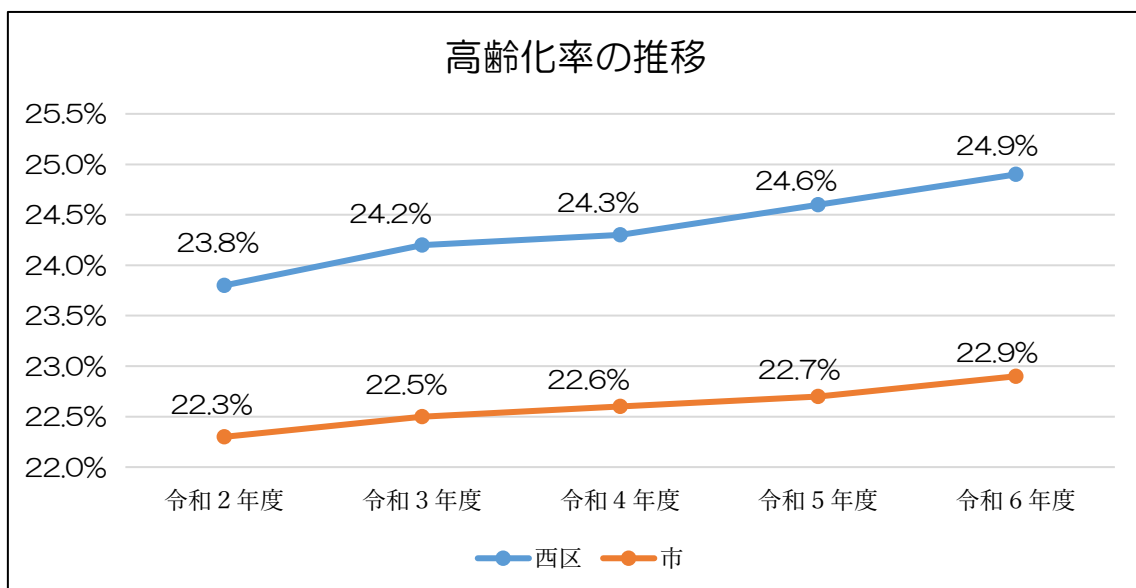
(2) 西区における地域包括ケアの取組み

①高齢者の概況等

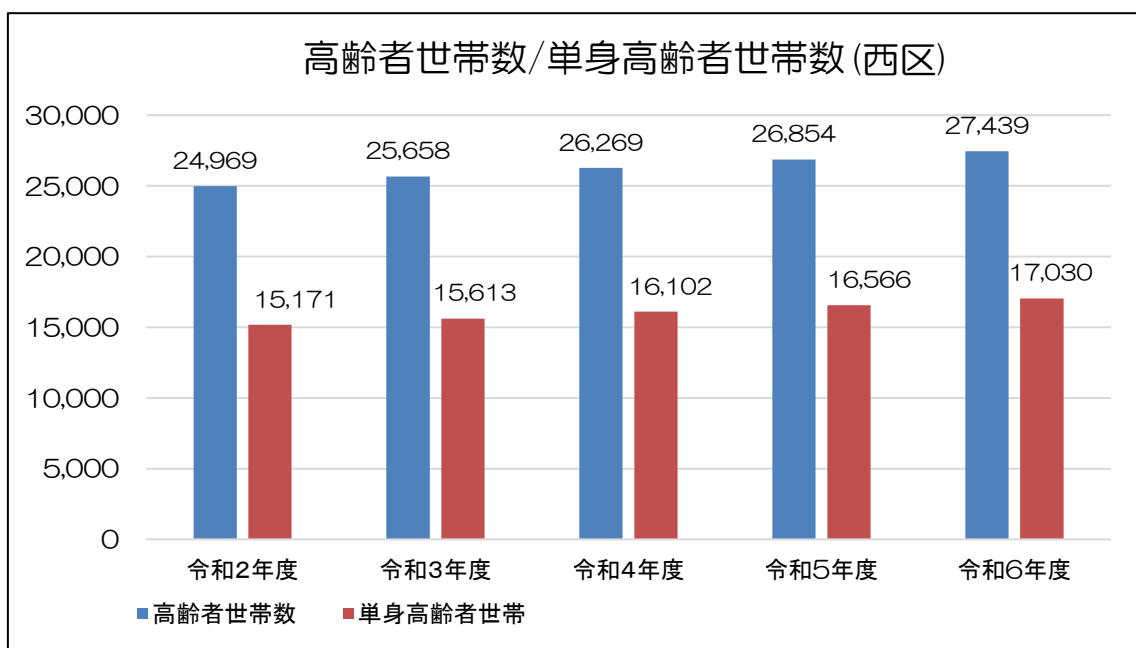
〈高齢者数・高齢化率の推移〉

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西区 65才以上	48,775 人	49,504 人	49,823 人	50,298 人	50,857 人
市 65才以上	339,839 人	345,230 人	348,496 人	352,066 人	356,114 人

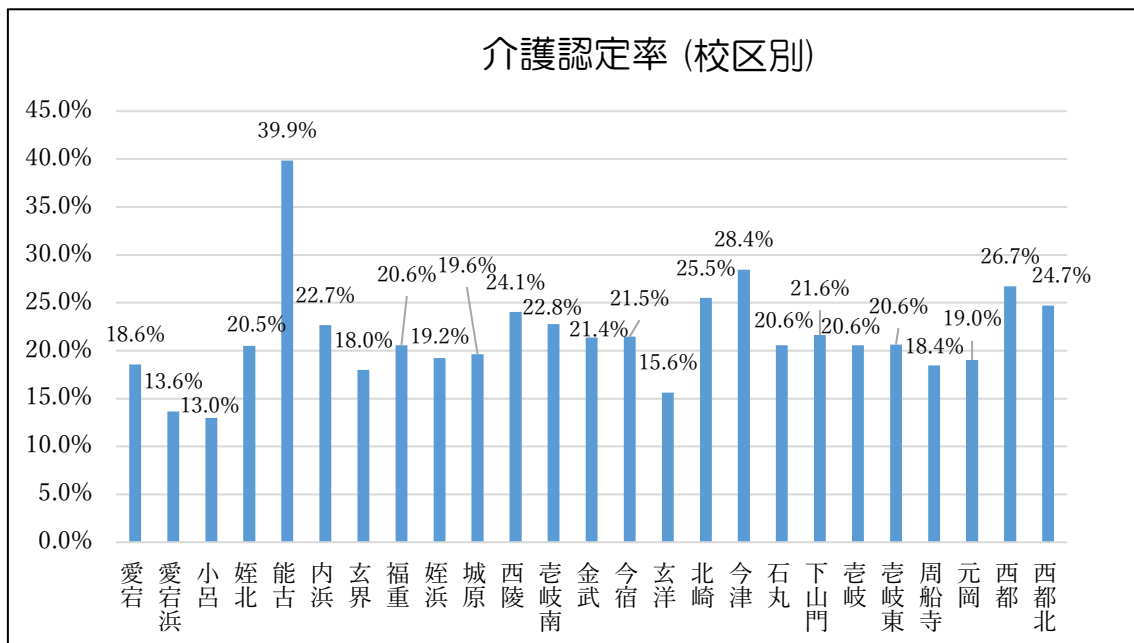
データ：各年9月末時点/市人口統計



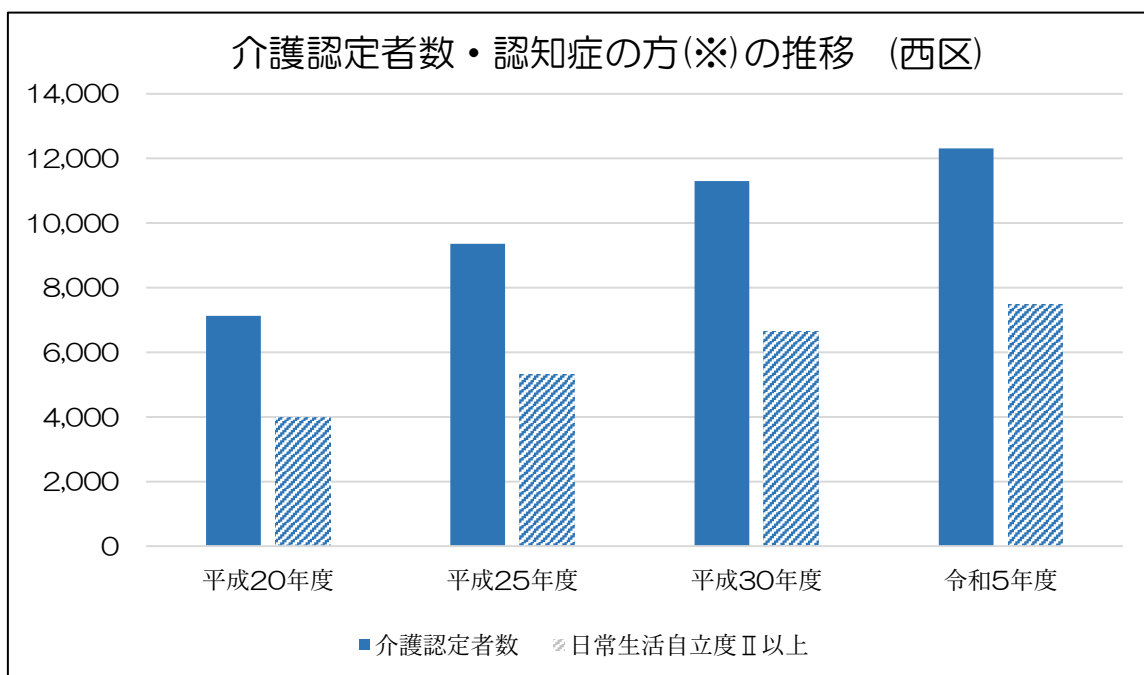
データ：各年9月末時点/市人口統計



データ：各年9月末時点/ケアビジョン
※令和6年度のみ6月末時点



データ：令和6年6月末時点/ケアビジョン



データ：令和6年6月末時点/ケアビジョン

※認知症日常生活自立度Ⅱ以上：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられたり、著しい精神症状等で専門医療を要する状態。

②事業報告等

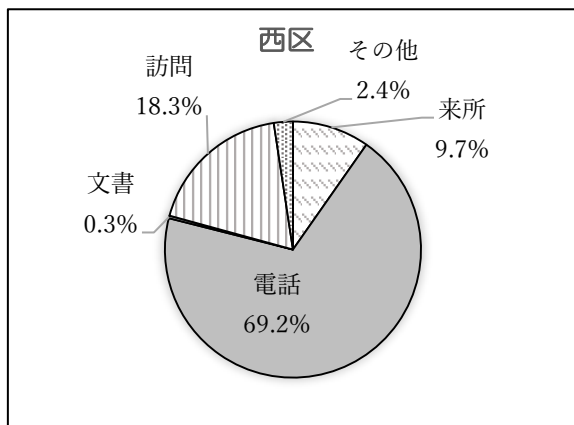
◆高齢者の相談状況等

〈相談件数〉

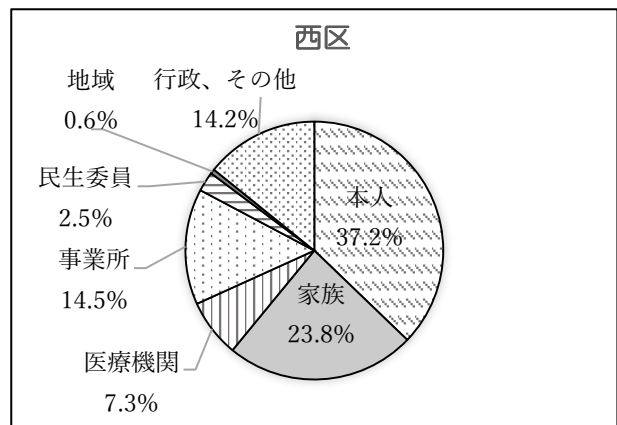
(単位：件)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4月～11月)	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数
西区	4,340	29,250	4,544	30,310	3,459	19,019
福岡市	29,678	213,056	30,500	213,584	23,220	147,446

〔図1〕令和6年度 相談方法の内訳



〔図2〕令和6年度 相談者の内訳

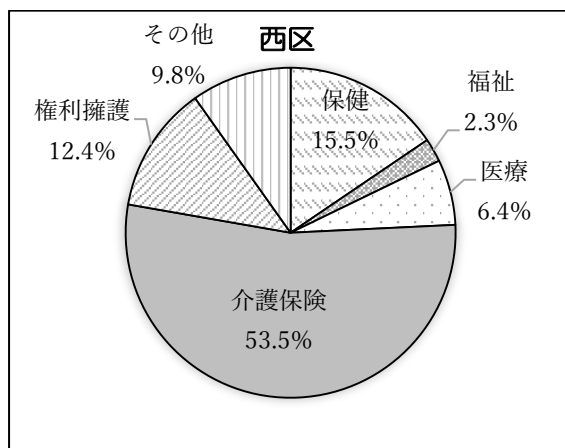


〈相談内容（第1主訴）〉

(単位：件)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度(4～11月)	
	西区	福岡市	西区	福岡市	西区	福岡市
保健	5,505	39,223	5,630	37,225	2,950	25,329
福祉	809	7,743	682	6,752	439	4,270
医療	2,419	19,081	2,123	16,719	1,221	10,832
介護保険	15,399	103,987	15,472	106,082	10,177	72,708
権利擁護	2,518	22,788	3,772	26,530	2,364	19,863
その他	2,600	20,234	2,631	20,276	1,868	14,444

〔図3〕令和6年度 相談内容（第1主訴）



- ・相談件数は年々増加。
- ・相談内容は「介護保険」が最も多く、次に多い「保健」の内容には認知症に関する相談を含む。
- ・1件の相談で、認知症や生活困窮、8050問題など、複合課題を抱える高齢者が増えている。

〈高齢者虐待の相談・虐待認定数〉

(単位：件)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)
	西 区	福岡市	西 区	福岡市	西区
相談数	71	417	64	505	55
虐待認定数	13	148	22	144	17

〈高齢者虐待の相談者内訳〉

(単位：件)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)
	西 区	福岡市	西 区	福岡市	西区
被虐待者	4	14	3	9	4
親族	3	18	5	31	2
虐待者	2	11	1	15	0
警察署	6	43	11	62	20
介護保険関係事業者	41	186	30	193	21
行政職員等	6	18	3	21	1
民生委員等地域役員	2	11	2	17	0
その他（病院等）	7	58	9	60	7
計	71	359	64	408	55

〈虐待の内訳（重複あり）〉

(単位：件)

		令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)	
		西区	福岡市	西区	福岡市	西区	福岡市
内 訳	身体的虐待	582	6,955	787	7,414	595	6,291
	放任・放棄	232	2,471	315	2,446	313	1,963
	心理的虐待	210	2,461	385	3,418	226	3,117
	性的虐待	1	8	5	56	4	92
	経済的虐待	186	1,721	208	2,141	247	1,690

〈成年後見制度市長申立ての状況（西区）〉

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4～11月)
市長申立件数	7	8	15

◆健康づくり・介護予防

- 健康寿命の延伸及び医療費抑制のためには、生活習慣病予防の普及・啓発、特に若い世代への働きかけが重要である。
- 高齢者が要介護状態にならないよう、フレイル予防の普及・啓発に取り組むとともに、フレイル状態の高齢者を把握し、必要な支援に早期につなぐ必要がある。

(1) 運動機能向上や認知症予防、口腔、栄養、生活習慣病予防等に関する講座等

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)	
フレイル予防教室			19回	329人	13回	269人
認知症予防教室	16回	175人				
生き活き講座	200回	3,301人	263回	3,150人	163回	2,681人
(委託事業)地域リハビリ テーション事業	3回	36人	21回	283人	8回	120人
(委託事業)介護予防事業	45回	341人	45回	304人	30回	142人
訪問型介護予防事業			実1人	延3人	実3人	延8人
生活習慣病予防教室等	46回	1,454人	55回	1,545人	38回	900人
(再掲)オトナ女子の身体 リセット講座 (概ね40～64歳)	4回	92人	6回	126人	4回	68人

<出典> 西区地域保健福祉課 保健医療 LAN 統計データ等

・離島におけるICTを活用した健康づくり事業(再掲)

タブレットを使用し、オンラインで健康体操、研修等を実施

	令和5年度		令和6年度 (4～11月)	
小呂島	15回	104人	5回	50人
玄界島	9回	108人	6回	74人



小呂島介護予防サロン

(2) 動画配信による運動継続支援

「オトナ女子の身体リセット講座」にて体操動画を作成し、福岡市 Youtube チャンネルで配信

(3) フレイル状態の高齢者の把握

- 令和6年度(4～11月)、「フレイル質問票」にてヒアリングを実施(20校区/299人)
- フレイル状態/48人(16%)、うち要フォロー者/17人

(4) よかトレ実践ステーション認定、活動継続支援

- ・福岡市ではかんたん体操やラジオ体操等の体操を「よかトレ」と名付けて推奨
- ・高齢者が身近な地域で運動機能向上や介護予防に主体的に取り組めるよう、公民館や集会所等で、月2回以上「よかトレ」を行っている住民団体、施設等を「よかトレ実践ステーション」として認定し、運動継続を支援

<登録団体数>

住民団体	89
施設版	39
計	128

<令和6年11月末時点>

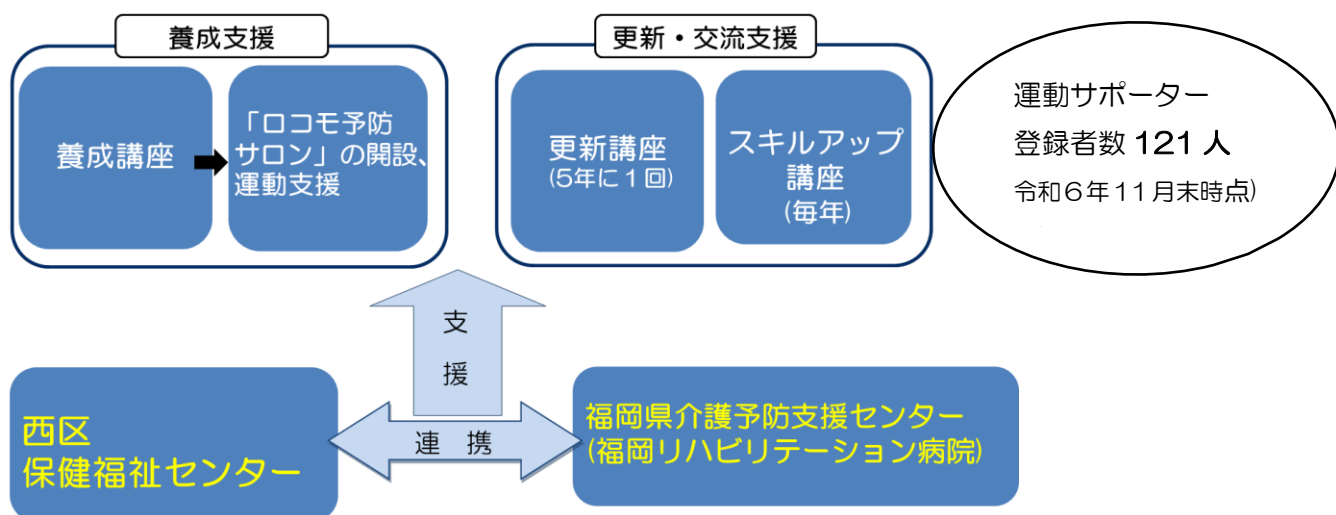
(令和6年度)

- ・新規登録 10 カ所 (11 月末時点)
- ・今年度「フレイル予防教室」から新たに立ち上がった自主グループに働きかけ

(5) 「運動サポーター」養成支援等

運動サポーターとは

ロコモ予防サロン等で、参加者とともにロコモ予防取り組むために、運動を促すサポーター



(令和6年度(4～11月)講座開催状況)

①養成講座

9/3、9/10、9/17 (全3回) ➡ 33人に「運動サポーター」認定書交付

②更新講座

10/1

③スキルアップ講座

11/6、11/14



◆認知症高齢者支援

(1) 認知症の人の見守りネットワーク事業

(単位：人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (11月末時点)
登録制度登録者数	120	145	148
捜してメール利用者数	101	128	113
検索システム利用者数	4	4	5

(2) 認知症サポーター養成講座

(単位：回数/回 参加者数/人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
認知症サポーター養成講座	19	843	20	966	8	290
サポーター養成数	—	760	—	937	—	255
【再掲】ステップアップ講座	3	47	1	15	1	25
【再掲】小中学生対象講座	6	591	7	639	4	217

(3) ユマニチュード講座®講座

(単位：回数/回 参加者数/人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月) ※	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
ユマニチュード講座®講座	19	104	4	161	27	1,557
【再掲】小中学生対象講座	1	87	1	104	19	1,355

※令和6年度は市内全小中学校で4年生対象にユマニチュード講座を実施

(4) 認知症キャラバン・メイト支援

(単位：回数/回 参加者数/人)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度 (4～11月)	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
キャラバン・メイト実行委員会	3	21	1	7	0	0
キャラバン・メイト連絡会	1	22	1	21	1	14

◆医療と介護の連携

(1) 多職種連携研修会

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加者数(人)
令和5年 7月28日	西市民センター	「認知症診療における多職種連携」 福岡リハビリテーション病院 金森 祐治 氏	147
令和5年 11月7日)	白十字病院	○講話 「急性期～生活期リハビリテーションの実際」 ○事例検討 白十字病院 リハビリテーション部 福井 哲 氏	95
令和6年 2月6日	西市民センター	「福岡市西区で始める心不全緩和ケア ～西区を日本で一番心不全患者が安心して暮らせる 地域に～」 福岡ハートネット病院 大森 崇史 氏	165

令和6年度（4月～11月）			
開催日	場 所	内 容	参加者数(人)
令和6年 7月12日	西市民センター	「大地震後の在宅医療の実態と課題」 福岡県医師会 横倉 義典 氏	149
令和6年 11月12日	西市民センター	「認知症のある人のアドバンスケアプランニングに ついて考える」 福岡市在宅医療医会 内田 直樹 氏	122

(2) おっしょ医くん講座（西区医師会） ※医師の講話後、地域保健福祉課保健師がACPについて講話

令和5年度			
開催日	場 所	内 容	参加者数(人)
令和5年 8月3日	下山門公民館	「がんは治る！～胃がん、大腸がんの最新～」 医療法人輝松会 松尾 太郎 氏	28
令和6年 2月7日	玄界公民館 (オンライン)	「鼻と耳のよくある病気」 ISCいなみつこどもクリニック 稲光まゆみ 氏	15

令和6年度（4月～11月）			
開催日	場 所	内 容	参加者数(人)
令和6年 6月25日	壱岐東公民館	「骨粗鬆症と腰椎圧迫骨折」 福岡リハ整形外科クリニック 藤原 明 氏	34
令和6年 6月25日	福重公民館	「在宅医療の始めかた」 北野クリニック 久保 信英 氏	22
令和6年 7月23日	壱岐南公民館	「介護予防（ロコモ予防でいつまでもお元気に）」 福岡リハ整形外科クリニック 藤原 明 氏	27

◆西区の特徴ある取組み

「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」市民への周知・啓発

（１）目的

単身高齢者の増加や高齢者の意思決定・備えの必要性に対応するため、市民一人ひとりが元気なうちから人生の最終段階までの過ごし方を自ら考え準備できるよう、ACPの周知・啓発に取り組む。

（２）取組み（令和６年度は１２月末時点）

① 市民向けイベント「西区オレンジフェスタ」開催

西区医師会、西区在宅医療地域リーダー、事業所ネットワーク、キャラバン・メイト連絡会、西区社協事務所の共催で、市民向けに「ACP」及び「認知症」の周知・啓発イベントを実施

令和５年度			
開催日	場 所	内 容	参加者数
令和５年 ９月２０日	西保健所	テーマ「体験しながら学ぶ「ACP」と「認知症」 ●講演 「ACPについて」 講師：西区在宅医療地域リーダー 平野 頼子氏 ・もしバナゲーム ●体験コーナー ・コグニサイズ ・シナプソロジー® ・マイエンディングノートの作成 ●展示・相談コーナー ・福祉用具展示 ・終活相談 ・お薬相談 ●カフェコーナー	延 79 人

令和６年度			
開催日	場 所	内 容	参加者数
令和６年 ９月１１日	西区役所 別館	テーマ「人生１００年時代に向けて」 ●第１部 ・映画上映 「お終活 ～熟春！人生１００年時代の過ごし方～」 ●第２部 ・終活セミナー ●体験コーナー ・AR 認知症疑似体験 ・コグニサイズ ・シナプソロジー® ●展示・相談コーナー ・血管年齢測定 ・福祉用具展示 ・お薬相談 ・終活出張相談窓口 ・健康・介護相談 ●カフェ・物販コーナー	延 367 人

② 媒体を用いた普及啓発（区役所や保健所窓口、地域での講座等で配布）

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
マイエンディングノート配布			
西区版エンディングノート配布	1,358 枚配布	2,330 枚配布	1,490 枚配布 (12 月末時点)
自分で決める人生ガイド配布			
周知・広報(ホームページ/市政だよりへの掲載)			

③ ACP 研究会の取組み（平成 28 年度～）

- ・医療や介護に関わる支援者が、キーパーソン不在の独居高齢者の支援に苦慮している現状を受けて、西区主任ケアマネ会が中心となり、「キーパーソン不在独居高齢者等支援のためのチェックシート」の作成や ACP に関する講演会の開催等様々な取組みを進めてきた。令和 2 年度には、ACP 研究会を立ち上げ「在宅高齢者のためのチェックシート活用マニュアル」を作成。
- ・令和 6 年度は、ACP をふまえた事例検討会等圏域ごとの活動に注力し、年度末に活動状況の共有や今後の会の活動について検討予定。

（３）現状と課題

- ・市民の ACP への関心や認知度はまだ低く、今後も周知・啓発の取組みを継続していく必要がある。
- ・医療・介護の専門職には ACP の理解が広まりつつあるが、個々また職種等により認識に差があり、研修の充実や多職種の相互理解等が必要。

西区版！「見守りポイントシート」活用の強化

(1) 目的

市民や医療・介護関係者等様々な機関向けに作成した「見守りポイントシート」を活用し、
虚弱高齢者や支援を要する高齢者の早期発見・支援につなぐ。

(2) 取組み

- 令和2年度に「見守りのポイントシート」を対象ごとに8種類作成
 〔 地域役員 / 医療専門職 / 金融機関 / スーパー・コンビニ / タクシー
 公共交通機関 / 公民館 / 行政職員 〕
- 主に、いきいきセンター（以下、センター）が各所を訪問し配布している。

〈配布状況〉

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4～12月)
配布か所（枚数）	118（－）	211（864）	176（701）

〈主な配布先（令和6年4～12月）〉

・民生委員・児童委員	9か所
・公民館/人権のまちづくり館	10か所
・医療機関/歯科/薬局	49か所
・居宅介護支援事業所/介護事業所	21か所
・スーパー/コンビニ	34か所
・金融機関/郵便局	1か所
・警察（交番）	2か所
・その他：ふれあいサロン/自治協議会 農協など	39か所

(3) 令和6年度の取組み

いきいきセンターや配布先の意見を元に「見守りポイントシート」の見直しを行っている。

<主な活動等>

9/11 西区オレンジフェスタ

- ・昨年に引き続き、イベントの企画から当日の運営まで各ネットワークから参画
- ・参加者は昨年より大幅増（昨年比約 4.6 倍）

<当日協力プログラム>

- ・「コグニサイズ」「シナプソロジー®」「健康・介護相談」「お薬相談」「福祉用具展示」「RUN 伴ブース」など



10/26 RUN 伴+2024

- ・昨年に引き続き木の葉モールで開催
- ・企画から準備、運営まで主体的に活動

<当日プログラム>

- ・「認知症〇×クイズ」「医療・介護相談」「お薬相談」「塗り絵」「風船配布」「館内パレード」など



認知症啓発

- ・「認知症サポーター養成講座」「キッズサポーター養成講座」「フォローアップ講座」等への講師派遣
- ・「認知症本人ミーティング」の主催



地域カフェ/生活支援ボランティア

- ・地域と連携しながら企画から運営までサポート



健康講座/研修会等

- ・地域の「健康講座」「車椅子体験」等への講師派遣
- ・小・中学校の「福祉授業」への協力
- ・校区の「健康フェスタ」に共催として参画。アイフレイルチェックや血圧測定等を担当



～医療・介護・福祉の専門職が連携～
事業所ネットワークの活動を知っていますか

医療機関や介護事業所、福祉施設などがネットワークをつくり、地域の健康づくりなどに協力する取り組みが広がっています。区内にある9つの事業所ネットワークのうち、3つの取り組みを紹介します。

●にしよまねと
「認知症サポーター養成講座」や「車椅子体験」など、地域の健康づくりのために、小・中学校での福祉授業や、地域の健康講座などに協力しています。今年度は、認知症サポーター養成講座の講師派遣や、車椅子体験の企画から運営までサポートしています。

●西ノコネット
「認知症サポーター養成講座」や「車椅子体験」など、地域の健康づくりのために、小・中学校での福祉授業や、地域の健康講座などに協力しています。今年度は、認知症サポーター養成講座の講師派遣や、車椅子体験の企画から運営までサポートしています。

●認知症サポーター養成講座
認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。認知症サポーター養成講座では、認知症の基礎知識や対応方法などを学び、認知症サポーターとして活動することができます。

●車椅子体験
車椅子体験は、車椅子の正しい使い方や、車椅子生活の不便さなどを体験することができます。車椅子体験は、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。

●認知症サポーター養成講座
認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。認知症サポーター養成講座では、認知症の基礎知識や対応方法などを学び、認知症サポーターとして活動することができます。

～医療・介護・福祉の専門職が連携～
事業所ネットワークの活動を知っていますか

医療機関や介護事業所、福祉施設などがネットワークをつくり、地域の健康づくりなどに協力する取り組みが広がっています。区内にある9つの事業所ネットワークのうち、3つの取り組みを紹介します。

●にしよまねと
「認知症サポーター養成講座」や「車椅子体験」など、地域の健康づくりのために、小・中学校での福祉授業や、地域の健康講座などに協力しています。今年度は、認知症サポーター養成講座の講師派遣や、車椅子体験の企画から運営までサポートしています。

●西ノコネット
「認知症サポーター養成講座」や「車椅子体験」など、地域の健康づくりのために、小・中学校での福祉授業や、地域の健康講座などに協力しています。今年度は、認知症サポーター養成講座の講師派遣や、車椅子体験の企画から運営までサポートしています。

●認知症サポーター養成講座
認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。認知症サポーター養成講座では、認知症の基礎知識や対応方法などを学び、認知症サポーターとして活動することができます。

●車椅子体験
車椅子体験は、車椅子の正しい使い方や、車椅子生活の不便さなどを体験することができます。車椅子体験は、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。

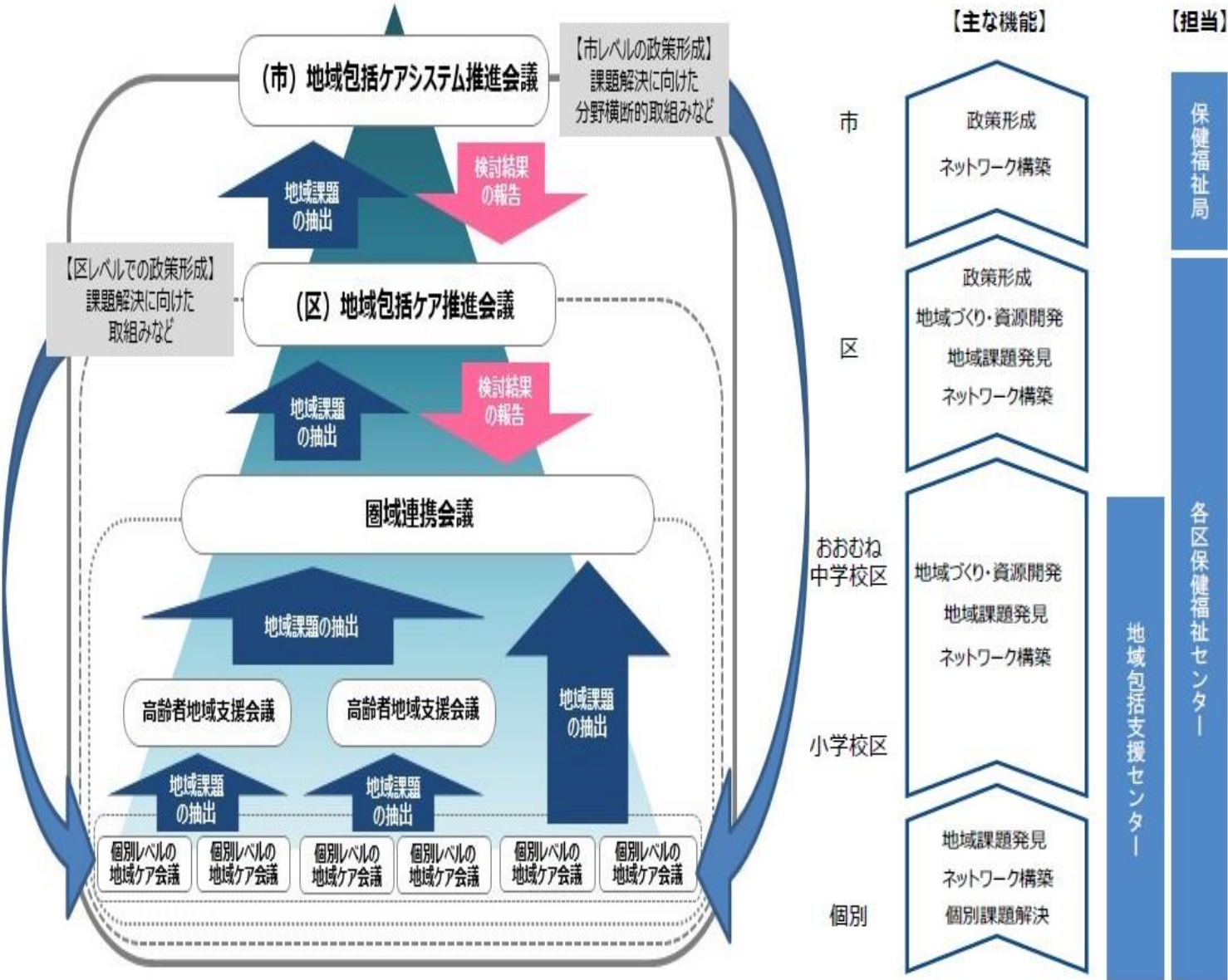
●認知症サポーター養成講座
認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族の生活を支える重要な役割を果たしています。認知症サポーター養成講座では、認知症の基礎知識や対応方法などを学び、認知症サポーターとして活動することができます。

市政だより西区版
(9/1号・12/15号)

③地域ケア会議開催状況等

＜開催状況（区レベル）＞

会議		5年度	6年度
区地域包括ケア推進会議		令和6年2月	令和7年1月
部会	在宅医療・介護部会	令和5年11月	令和6年12月
	権利擁護部会	令和5年10月	令和6年10月
	生活支援・介護予防部会	令和5年12月	令和6年12月



＜開催状況（校区别）＞

		圏域連携会議		高齢者地域支援会議		個別支援会議 ※（ ）内は 介護予防型個別支援会議	
		5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度
圏域	西区	4	6	15	6	49(16)	37(8)
1	愛宕	0	1	1	0	3(1)	0
	愛宕浜			0	0	1	1
	小呂			0	0	0	0
	姪北			0	1	8(1)	5(1)
	能古			1	0	2	2
2	内浜	0	1	0	0	4(2)	0
	玄界			0	0	1	0
	福重			4	2	1	3
	姪浜			1	0	0	1(1)
3	城原	2	2	0	0	1	2
	西陵			1	0	3(2)	2
4	壱岐南	0	0	1	1	4(1)	3(1)
	金武			2	0	1(1)	0
5	今宿	1	1	1	0	1	2
	玄洋			1	0	4(2)	0
	北崎			0	0	0	1(1)
	今津			0	0	0	0
6	石丸	0	0	2	0	3(2)	1(1)
	下山門			0	1	5	4(1)
7	壱岐	0	0	0	0	2(2)	2
	壱岐東			0	0	2	3(1)
8	周船寺	1	1	0	0	1(1)	1
	元岡			0	0	2(1)	2(1)
	西都			0	1	0	2
	西都北			0		0	0

6年度は11月末時点

圏域連携会議

- ・圏域における多種連携のためのネットワーク構築や、個別支援会議で抽出された地域課題を検討
- ・事例検討を通じ、専門職等の質の向上を図る

高齢者地域支援会議

- ・地域課題の解決を図るため、校区等における地域の共助力を醸成するネットワークを構築
- ・個別課題の蓄積等により地域課題を発見し、解決に向けた取組み等について検討

個別支援会議

- ・事例に応じた多職種による個別の連絡調整とタイムリーな支援を検討

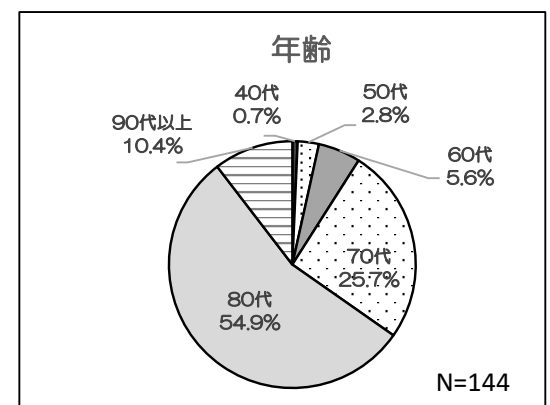
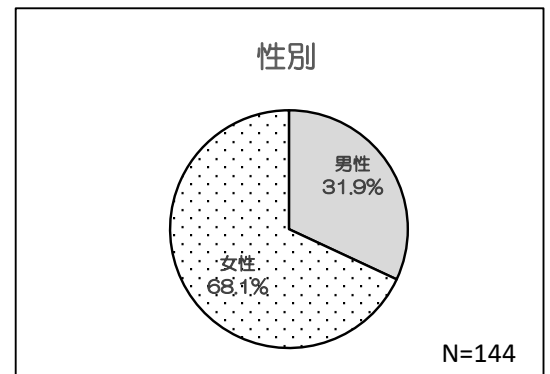
◆個別支援会議の開催状況

【参加者等】

医療機関、介護支援専門員、介護サービス事業所、権利擁護機関、自治協議会、民生委員・児童委員、その他地域団体、区基幹型相談支援センター、区社協事務所 等

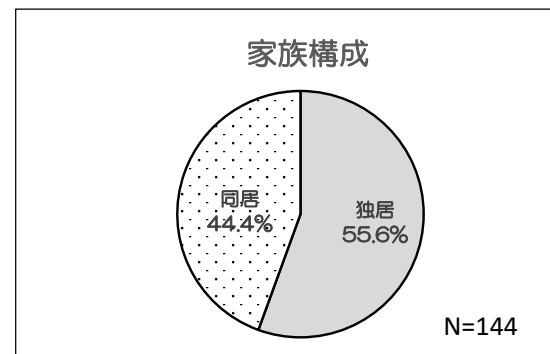
(表1) 対象者の性別及び年齢 (人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4~11月)	計
総数	58	49	37	144
男性	21	16	9	46
女性	37	33	28	98
40代	1	0	0	1
50代	0	0	4	4
60代	3	1	4	8
70代	15	17	5	37
80代	34	23	22	79
90代以上	5	8	2	15



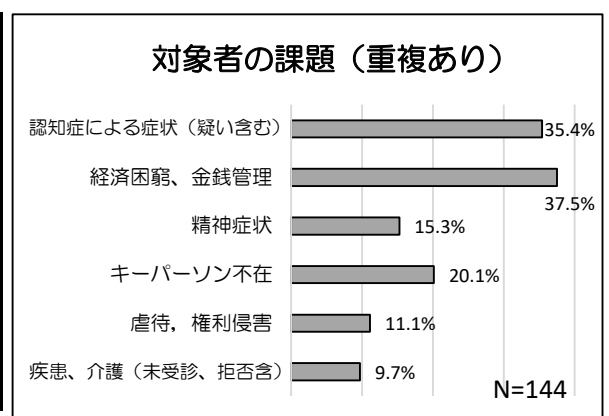
(表2) 対象者の状況等 (人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4~11月)	計
総数	58	49	37	144
介護認定有	54	42	34	130
介護認定無	4	7	3	14
独居	31	33	16	80
同居	27	16	21	64



(表3) 対象者の課題(重複あり) (人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4~11月)	計
認知症による症状 (疑い含む)	18	19	14	51
経済困窮・金銭管理	20	18	16	54
精神症状	9	11	2	22
キーパーソン不在	10	8	11	29
虐待、権利侵害	3	3	10	16
疾患、介護 (未受診、拒否含)	6	4	4	14



・対象者の課題としては「認知症による症状(疑い含)」「経済困窮、金銭管理」「キーパーソン不在」が多く、複合課題を抱えた事例が増えている。

◆高齢者地域支援会議の開催状況

【参加者等】 自治協議会、民生委員・児童委員、校区社会福祉協議会、その他地域団体、
介護支援専門員、介護サービス事業所、区社協事務所 等

(令和5年度)

事務局	校区	日時	参加者数 (人)	内容等
地域包括支援 センター	石丸	4月27日 13:00～	36	石丸校区 民生委員・児童委員研修会（第3回） ・住み慣れた地域で暮らし続けるために
区 地域保健福祉課	愛宕	5月13日 17:10～	51	愛宕校区「わがまちサミット」 ・災害時に備えた日頃からのつながりづくり
地域包括支援 センター	壱岐南	6月23日 14:00～	26	[壱岐南校区] 災害時の取組み
区 地域保健福祉課	玄洋	7月11日 19:00～	33	玄洋校区社協 ふれあいネットワーク研修会 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	福重	7月27日 19:00～	21	福重校区社協 福祉座談会 「超高齢化を支えるわがまちサミット」 ・認知症講話 ・認知症啓発映画視聴
区 地域保健福祉課	西陵	9月2日 19:30～	53	西陵校区「福祉のまちづくりプラン～元気な高齢者を増やそう～」検討会議
区 地域保健福祉課	福重	9月25日 19:00～	33	福重校区社協 福祉座談会 ・防災ワークショップ
地域包括支援 センター	金武	10月27日 14:00～	19	[金武校区]災害時の取組み
区 地域保健福祉課	福重	11月27日 19:00～	25	福重校区社協 福祉座談会 ・ユマニチュード
地域包括支援 センター	能古	12月6日 14:45～	22	第23回 能古校区高齢者支援会議
地域包括支援 センター	石丸	12月21日 14:00～	21	石丸校区 高齢者地域支援会議 「住み慣れた地域を理解する」～防災～
区 地域保健福祉課	姪浜	1月23日 10:00～	37	[姪浜校区]見守りマップ&個別避難計画作成ワークショップ
区 地域保健福祉課	今宿	1月27日 10:00～	33	今宿校区社協 意見交換会 ～校区の目指す地域像～
区 地域保健福祉課	福重	2月19日 19:00～	37	福重校区社協 福祉座談会 ～介護保険と事業所ネットワーク～
区 地域保健福祉課	金武	3月15日 10:00～	33	金武校区社協 理事会 ～防災の取組み～

＜会議で出された主な意見・課題等＞

(認知症等)

- ・この10年高齢化が進み、高齢者は顕著に増え、認知症も増えている。周りの関わり、周りが知ることが大事。
- ・地域で見守れば支える家族の助けになる。地域で温かく見守ることが大事。
- ・相手に対する思いやり、愛情をもって接することの大切さを感じた。
- ・認知症の人だけではなく、周りの方々に「見る」「話す」「触れる」を心がけたい。

(災害時の見守り等)

- ・1人暮らしの方をどう支援するか。対象者をリストアップし「声かけ・見守り」を実践している。
- ・町内でワークショップを開催し見守りマップを作成。一町内ではなく近隣の町内でまとめて取り組むとよい。
- ・要支援者以外に、独居など気になる住民もチェックしている。
- ・次年度以降も定期的に集まり、情報交換しながら見守りマップ更新等を行っていきたい。
- ・本人の災害時の避難場所の希望や意向を聞き取り、意思決定支援を行っていく。
- ・自治会とハザードマップについて周知し、共同で個別支援計画、見守りマップを作っていく必要がある。
- ・避難行動要支援者名簿や個別支援計画について理解し、重要性を再確認した。
- ・災害時に備えた取組みは、地域全体で繋がる必要があると再認識した。
- ・要支援者名簿に記載されていない人の中にも支援が必要な人がいると思われるがマンションでは状況把握が困難。

・優先度は個別に判断することになるが、判断は難しい。 防災の考えは「自助」。 ・毎年1回、校区の災害連絡網を配布している。 ・「福祉事業所等」と「地域」。困った時はお互い協力できるようにと思う。 ・リアルタイムでの物品の在庫確認など、事前準備として共有するツールがないか。
(健康づくり/つながり)
・健康づくりをテーマにふれあいサロンを開催し、元気高齢者づくりの場を広げたい。 ・住民の健康と親睦のため、ラジオ体操で健康づくり。 ・町内清掃を活かして人の場を増やす。雑談・井戸端会議ができればいい。 ・公民館や自治会の行事を口コミでPRして参加につなげていこう。 ・独居で下肢筋力低下の方が多い。介護認定を持っていない人のサポートが必要。 ・移動販売では町内毎の見守りや交流の場となっている。 ・買い物や宅配の受け取りは移動手段がない高齢者には困難。人手不足が課題。 ・まごころ弁当の配達で安否確認や見守りを実施。利用者の増加あり。
(担い手/世代間交流)
・ボランティアは新規の人がいない。若年層の参加があればよい。行事等に参加する人を増やす。 ・若い世代も含め、町内で交流の機会を持ち見守りや安否確認を行う。 ・気になる高齢者には町内のボランティアで見守る体制をつくる。 ・町内同士の交流を増やす。ふれあいサロン同士の交流が必要。顔が分かるコミュニティが必要。 ・若い世代と親世代との交流、次世代へつないで行ける行事などへの参加を促進。つながりのあるイベントの企画。 ・町内会を理解してもらうため、町内会の取組み事例、よいところなどを紹介。全員参加型行事の企画。

(令和6年度(4~11月))

事務局	校区	日時	参加者数 (人)	内容等
地域包括支援 センター	下山門	5月23日 14:30~	23	つながることで安心して暮らせるまち、下山門
区 地域保健福祉課	福重	9月20日 19:00~	17	福重校区社協 地域ボランティア講座
区 地域保健福祉課	姪北	11月16日 10:30~	26	姪北校区社協 「ユマニチュード地域講座」等
区 地域保健福祉課	西都・西都北	11月17日 10:00~	29	西都・西都北校区社協 「わがまちサミット」(認知症)
地域包括支援 センター	壱岐南	11月21日 14:30~	15	情報交換会「校区防災について」
区 地域保健福祉課	福重	11月22日 19:00~	29	福重校区社協 福祉座談会 「認知症サポーターステップアップ講座」
〈会議で出された主な意見・課題等〉				
(つながり/見守り)				
・介護関係者と民生委員等、地域住民がつながっていることが大切。些細な情報でも本人の「人となり」や日頃の生活を知るきっかけとなる。 ・火事や詐欺などの被害を防ぐことが大切。本人と関わる人達が日頃から話し合っておくべき。 ・個人が、地域住民、民生委員、いきいきセンター、介護支援専門員、医療機関等とつながり続けることが重要。 ・団地は高齢化が進み日常のゴミ捨てが大きな課題。訪問介護等サービスを利用する人もいるが、ほとんどが身内や民生委員の支援というのが現状。生活支援としてのサービスが必要。 ・校区内には若い世代も多い。活動を通じて若い世代との関係構築が大事。				
(認知症等)				
・ユマニチュードはこの関わり方があれば、認知症に限らず、老若男女問わず心穏やかになりそうな気がする。 ・家族と話す、接する時にも、ユマニチュードの技術が活かせると思う。 ・地域全体で認知症に関して学んでいくことが大事。 ・校区全体で取り組んでいかないといけない内容である。 ・これから認知症が増える。同じ目線で困っている方には声かけしていきたい。				

◆圏域連携会議の開催状況

【参加者等】

医療機関、介護支援専門員、介護サービス事業所、自治協議会、民生委員・児童委員、その他地域団体、区基幹型相談支援センター、区社協事務所 等

(令和5年度)

事務局	日時	会場	参加人数	内容等
西第5	9月12日(火) 15:00~16:30	さいとびあ	81人	・8050問題の事例をもとにシンポジウム ・まとめ
西第3	9月27日(水) 14:30~16:00	城原公民館	39人	・ケアマネジャーの仕事・役割について ・民生委員の活動・役割について ・意見交換会
西第8	3月27日(水) 13:00~14:00	さいとびあ	32人	・事例紹介 ・グループワーク、発表
西第3	3月27日(水) 15:00~16:30	城原公民館	43人	・事例検討 ・グループワーク、発表

(令和6年度(4~11月))

事務局	日時	会場	参加人数	内容等
西第1	7月23日(火) 14:00~15:30	愛宕浜公民館	44人	・複合課題に「気づき・つながる」研修会
西第5	9月11日(水) 15:00~16:30	さいとびあ	60人	・各関係機関の紹介等 ・地域や関係機関による見守り事例をもとにシンポジウム ・まとめ
西第3	9月25日(水) 14:30~16:00	城原公民館	41人	・声の訪問、緊急通報システムについて ・孤立死を防ぐ見守りダイヤルについて ・自分自身や地域でできることについて ・「見守りのポイントシート」について ・質疑応答
西第8	10月17日(木) 13:30~15:00	西都北公民館	36人	・自己紹介 ・事例紹介 ・グループワーク、発表
西第3	11月1日(水) 14:00~15:30	城原人権まちづくり館	35人	・校区社会福祉協議会の活動 ・西区社会福祉協議会の活動 ・西区地域保健福祉課の取り組み ・交流タイム
西第2	11月20日(水) 14:30~16:30	西市民センター	36人	・講話「薬の飲み忘れ防止策について」 ・事例紹介 ・グループワーク、発表

〈会議で出された意見・課題等〉

- ・複合課題などを抱える相談が増えてきている。地域も気づいているが介入が難しいケースも多くなる。
- ・一人暮らしの認知症の高齢者には、地域や介護サービス、関係機関の連携した見守り体制が必要であり、見守り体制があることで、認知症であっても一人暮らしが可能になる。

◆専門部会の開催状況（令和6年度）

＜在宅医療・介護部会＞

開催日	内 容	出席者数
令和6年12月2日	1 地域包括ケアシステムの推進 ①地域ケア会議の開催状況 ②西区における在宅医療・介護に関する取組みについて 2 意見交換 「各団体の取組み状況について」 3 事例検討 「キーパーソンのいないがん末期の方の支援について」	19人
【主な意見】 ・ACPを中心に在宅医療、介護、認知症等の市民への啓発について、情報発信方法などの検討が重要。 ・ACPの理解に関しては職種や個々によって差がある。専門職の理解促進や多職種連携が必要。 ・意思決定支援は終末期だけでなく、健康なとき、診断時、再発時等各ステージにおいて主体的に考えられるような啓発および支援体制づくりが必要。 ・頻発する災害をふまえ、平時からの備えや発災時の専門職の連携について検討しておくことが大事。 【令和7年度の目標】 ①ACPや意思決定支援の取組みの推進 ②キーパーソン不在や8050問題等、複合的な課題を抱えた高齢者への支援力向上		

＜権利擁護部会＞

開催日	内 容	出席者数
令和6年10月25日	1 報告事項 地域包括ケアアクションプラン2021～2026について 西区地域包括ケアに関する取組みについて 西区の高齢者相談状況 2 意見交換 「複合課題を抱える高齢者への関わりについて」	19人
【事例をとおして出た主な意見】 ・ケアマネジャーや民生委員児童委員等との連携していく。地域とのつながりが大切。 ・孤立しないために社会参加を促すなど予防的に支援が必要。 ・キーパーソンに働きかけ介入のきっかけを作る。 ・本人との信頼関係を構築し、困ることを探る。 ・危機感を共有する。緊急性を察知する。 問題が大きくなってから把握することが多い。複合課題は問題が絡み合っておりどこから介入するのが難しい。緊急性や危機感が強くなければ、できることから介入する。ゆるくてもつながっておくことが重要。支援者間で情報を共有し介入の機会を捉えていけたらよいのではない。		

＜生活支援・介護予防部会＞

開催日	内 容	出席者数
令和6年12月3日	（１）生活支援・介護予防の取組み状況について（報告） ①地域ケア会議の開催状況 ②校区の取組み事例 ③健康づくり・介護予防 ④社会福祉協議会の生活支援・介護予防 ⑤事業所ネットワークの活動状況 ⑥地域包括ケア推進の推移 （２）意見交換 「みんながつながる地域づくり ～集いの場所の創出と担い手の確保～」	20人
【主な意見】 ・課題は地域に関わっている人が同じということと個人情報の関係で地域に情報が入ってこないこと。ふれあいサロンなどの参加者も固定化。新しい人と地の人、若い人と高齢者の交流がない。 ・地域には若い人や高齢者のほか外国籍の方もいる。「交流」をテーマに多世代で参加できるイベントを開催したが、子どもたちの参加はまだ少なく今後の課題である。 ・サロンの運営予算が不足しており、自治会等の協力がなければ運営は困難。 ・地域団体等の役職を若い人や勤めている人をお願いするのは現状難しい。勤めている人が参加できる方策を考えていかないと、地域の活動は消滅していくのではない。 ・行方不明者捜索訓練を、公民館や自治会、事業所ネットワークなどが協力し実施している。今後は小・中学校などへネットワークを拡大し、校区全体での訓練を調整中。 ・集合住宅は横の繋がりがなく特に難しい。 ・公民館で地域カフェを開催。参加者同士で会話を楽しみ参加者は増えている。各町内から「ここに来れば会える」ということで集まって来られている。		

テーマ 「2025 年 地域包括ケアの推進

～これまでの振り返りとこれからの取り組み～

地域包括ケアにおける分野、「健康づくり(介護予防)」「医療」「介護」「生活支援」「見守り」等にかかる各団体等の取り組みについて、これまでの振り返りとこれからの取り組みについて

- ・ 成果等 これまでの取り組みでできていること/できていないこと
- ・ 課題等 今後さらに取り組んでいく必要があると思われること

西区 地域包括ケア取組みの推移（平成27年度～令和5年度）

年度			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	…	2026
			H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	…	R8
高齢者人口等（※1）	人口	人	202,992	204,735	206,674	208,321	208,553	208,373	207,733	208,416	209,029		
	高齢化率	%	21.2	21.8	22.2	22.6	23.0	23.5	23.9	24.0	24.1		
	6 5 歳以上人口	人	43,075	44,687	45,932	47,102	47,987	48,895	49,642	49,973	50,465		
	7 5 歳以上人口	人	19,892	20,907	21,876	22,731	23,611	24,051	24,388	25,491	26,691		
	世帯数	世帯	89,778	91,444	93,238	95,007	96,152	96,813	97,717	99,645	101,054		
	単身高齢者世帯	世帯	12,319	13,003	13,558	14,094	14,623	15,171	15,613	16,102	16,566		
保健・介護予防（※2）	よかトレ実践ステーション	登録数	-	-	25	63	88	109	116	124	133		
	自主グループ	数	21	26	28	30	32	32	32	29	24		
	ロコモ予防サロン	数	5	7	11	14	16	16	16	16	13		
認知症（※2）	認知症の人の数（※）	人	4,926	5,175	5,325	5,414	5,586	5,543	5,712	5,844	6,031		
	認知症サポーター養成講座	回	21	25	17	17	14	6	4	10	12		
	キッズサポーター養成講座	回	4	7	17	13	18	3	4	6	7		
	認知症ステップアップ講座	回	0	0	3	4	1	0	2	3	1		
	ユマニチュード地域講座	回	-	-	-	2	4	1	2	2	4		
見守り・生活支援（※2）	ふれあいサロン（助成サロン）	数	81	83	85	83	84	76	78	75	83		
	ふれあいネットワーク/自治会	数	155/226	159/227	158/227	161/227	158/227	156/227	154/227	164/227	166/227		
		率	68.6%	70.0%	70.0%	70.9%	69.6%	68.7%	67.8%	72.2%	73.1%		
	地域カフェ	数	7	11	14	14	19	26	26	24	20		
	生活支援ボランティアグループ	数	3	5	6	6	7	7	7	8	7		
事業所ネットワーク		数	2	3	6	9	9	9	9	9	9		
高齢者地域支援会議		回	86			15	6	16	10	20	15		

※1：福岡市データ分析システム「ケアビジョン」

※2：各所管課等が把握するデータに基づく

(各年 3 月 3 1 日時点)

【まとめ】
◆高齢者人口等（H27とR5の比較） ・人口数は1.03倍と微増だが、65歳以上人口は約 1.2倍、75歳以上人口は約1.3倍 ・高齢化率を見ると、高齢者は概ね「5人に1人」から「4人に1人」へ ・単身高齢者世帯は1.3倍増 ・高齢化がさらに進み、単身高齢者・認知症高齢者が増える中、地域における「つながり・支え合いの仕組み」はますます重要である。
◆よかトレ実践ステーション ・H30から施設版の登録開始(前年比約2.5倍)。さらなる創出に向けて、広報の強化、出前講座・体験会等を実施。 ・R2以降は新規登録に向け、薬局等へ積極的にアプローチを実施。徐々に登録数は増え、R5の登録数はH29登録開始時と比較し約5倍となった。 ◆自主グループ ・概ね30グループ前後で推移。区主催の教室にて自主グループ化を支援。コロナで活動場所が使えなくなったことなどにより、コロナ後は減少している。 ◆ロコモ予防サロン（H27とR5との比較） ・約2.6倍
◆認知症の人の数（H27とR5との比較） ・約1.2倍 ◆認知症サポーター養成講座 ・コロナ禍に一時減少したものの、一定回数開催できており、地域における認知症サポーター・キッズサポーターは着実に増え続けている。 ◆取組みの推進 ・認知症サポーター養成講座を経て、搜索訓練・声かけ訓練へと継続した取組みを進める校区もある。 ・R6は、実践的なコミュニケーション技法「ユマニチュード」講座を全小学校で開催。R7Nは区内全公民館で開催予定
◆ふれあいサロン ・コロナ禍、一時減少に転じ、R5からは活動再開とともに増加。近年は、助成を受けないサロンも増えてきている(R5末：15団体)。 ◆ふれあいネットワーク ・組織率は70%前後で推移。コロナ禍で一時減少に転じるが、R4以降は増えてきている。災害の頻発化等もあり、地域の見守り体制構築の必要性は広がるものの、地域においては担い手不足が生じている現状もある。 ◆地域カフェ ・H27と比較すると約3倍。閉じこもりがちな高齢者の孤立化が懸念される中、町内単位など小規模なカフェの検討も増えつつある。
◆事業所ネットワーク ・H30より区内全圏域で活動展開中
◆高齢者地域支援会議 ・地域主体で地域ニーズに応じたテーマで開催されている。コロナ禍を経て町内単位での開催等も増えている。